

平成 19 年度 国立大学法

の改善を行う。

卒業生、主要関連企業へのアンケート調査等を実施し、教育改善に

高等学校での教育プログラムを考慮し、多様な入学者を受入れるため、高等学校との連携を強め、入試方法の多様化を図る。

入試成績、入学後の成績等を追跡調査し、入学者選抜のための基礎資料を作成し、選抜方法の改善にフィードバックする。

留学生選考方法の改善等を検討するとともに、留学に係わる本学の情報を海外に

博士後期課程では専門分野の能力を深化させるために少人数教育を行い、自立した研究者を育成する。

飛び入学や短縮修了の実施体制を検証し、活用の際の課題を整理する。

科目等履修生・研究生・14条適用大学院生・休職制度大学院生の受入れ増を図るとともに、現職教員の受入体制を充実する。

学士課程教育との有機的な接続に配慮しつつ、適切な教育内容やレベルを設定して、課題探求力を備えた学生を育成する。

学外研究機関との連携を広く進めて、

JABEEに関連して教養科目についての書類の受付、整理、保管(電子化)を効率的に実施するための事務管理の体制を、関連学部と協力して

する。

[教育設備等の活用・整備]

先端科学技術に関する教育・研究支援拠点を整備し、高度の各種分析機器を効率的に管理・運用し、共同利用の推進と測定サービス等の充実に努める。

先端科学技術に関する教育・研究支援拠点を整備し、高度の各種分析機器を効率的に管理・運用し、共同利用の推進と測定サービス等の充実に努める。

[連携した教育]

魅力あるカリキュラムを構築するため、近隣大学及

キャンパス内バリアフリー化や障害者用施設設備の充実を図り、障害のある学生が利用しやすい環境を整備する。

学生及び留学生向けの宿舍の利活用について点検を行い、運営の改善に努める。

留学生の学習支援体制を充実するとともに、学生チューターの指導・訓練を行い、留学生支援を実効あるものにする。

主として日本人学生対象の「外国語としての日本語教育基礎コース」を平成19年度実施する。

引き続き留学生の学業や生活に関する相談体制を強化し、カウンセリングや指導体制の改善を図る。

スチューデント・アシスタント制度の有効活用を図る。

留学生と地域団体との交流の実施内容を検討し、更に

新たに設けられたサバティカル制度を活用し、教員の教育・研究能力向上を目指す。

[研究資金の配分]

競争的研究資金情報の教員への広報体制と戦略的研究の組織化に機敏に対応できる体制を整備する。さらに、資金獲得へのインセンティブを与えるシステムを整備する

[知的財産管理の整備]

社会の要請にしたがって企業と共同研究を展開し、本学のシーズを社会に提供する。また、本学の知的財産の創成と管理及び活用を図る拠点として知的財産管理部を形成する。

共同研究開発センター内に設置した「知的財産部門」を拠点として、(1) 社会のニーズに沿った共同研究を展開し、本学のシーズを社会に提

をおこなう。

現職教員の研修システムを活用して、茨城県教育委員会との連携を強化し、地域の教育支援を充実する。

“大学 Jr.サイエンス&ものづくり教室”の発展形として、“ものづくり体験・理科工作教室”を近隣小中学生を対象として開催する。

平成17、18年度の製造中核人材育成事業で開発した教育プログラムを、大学院特別

における社会との連携を図る。

北関東4大学の大学院連携協定に基づき、引き続き大学院間の教育研究の連携を推進する。

大学間の連携・連合等の将来のあり方に関して、連合大学院を構成する東京農工大学、宇都宮大学との協議を行うとともに、その他近隣大学等との意見交換を進める。Y e ` ° u 水 " Q p E R ルカ

事務組織の機能と編成を見直し、

知的財産活用のため知的

予算（人件費の見積りを含む。） 収支計画及び資金計画

別紙参照

短期借入金の限度額

短期借入金の限度額 100万円以内とする。

2 人事に関する計画

教育職員については、中期計画をとおして を ④ を / て p 7 中期

(別紙) 予算、収支計画及び資金計画

1. 予算

平成19年度 予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	
施設整備費補助金	
補助金等収入	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	
自己収入	
授業料、入学金及び検定料収	

3. 資金計画

平成19年度 資金計画

(単位：百万円)

	ル Z		金 0 リ ア	
--	-----	--	---------	--

別表（学部の学科、研究科の専攻等）

人文科学研究科	文化構造専攻	6人（修士課程）
---------	--------	----------

人

茨城大学

附属中学校	1 m Z	4 8 0 人学枢八 学級数 1 2
-------	-------	-----------------------

附属特別支援学校